

2016-2017年度 主題



国際会長：Joan Wilson

アジア会長：Tung Ming Hsiao

東日本区理事：利根川恵子

湘南・沖縄部長：若木一美

クラブ会長：林 茂博

“Our Future Begins Today”
 「我々の未来は、今日から始まる」
 “Respect Y’s Movement”
 「ワイズ運動を尊重しよう」
 「明日に向かって、今日働こう」
 「あなたが退会しない理由は？」
 ～明るく・楽しく・元気よく～
 「仲良く、楽しく、無理をせず」
 ～今日という日を大切に～



今月の聖句

「なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、言っておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。」

マタイによる福音書

6：28-29

《巻頭言》

ポジとネガ、光と影 クラブ会計 鈴木 茂



日本YMCA同盟は現在、全国のYMCAとともに「YMCAブランドの再生」プロジェクトに取り組んでいる。本年6月18日（土）～19日（日）の2日間、東山荘で開催された同盟協議会において、その中間報告とも言うべきブランドコンセプトの発表、説明が行われた。さらに、9月10日（土）には、「YMCAブランドコンセプト発表とわかちあい」集会在、東京YMCA（東陽町）などで開催された。

ここで言うブランドコンセプトとは、ブランドそのものではなく、YMCAがブランドを通して表現したいYMCAの意義や存在価値を定義したもので、言わばブランドの土台づくりになるもの。先般発表されたYMCAブランドコンセプトのキーワードは、「ポジティブネット」である。これは、英語の辞書にもない正にYMCAブランド再生のために考案された造語であるが、要は「善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク」のことで、YMCAが互いを認め合い、高めあう豊かな社会を創り出す意志を表明したものである。

ところで、私にとって強く印象に残ったことは、東京YMCAでの「コンセプト発表とわかちあい」集会の最後の挨拶で、田口 努横浜YMCA総主事・全国YMCA総主事会議会長が、「写真で言えば同じ物を撮影しても、ポジとネガとは明暗全く正反対のフィルムができるように、物事には必ず光と影の両面がある。真にポジティブに生きるということは、影の面・ネガティブな問題をしっかり直視して生きることではないか」とコメントされたことである。

「ポジティブネット」を創ることはもちろん、その影の部分をしっかり直視することは、YMCAとの協働、連携とともに、地域・国際活動を重視するワイズメンズクラブにとっても、極めて重要な課題と思われる。ワイズの世界における「ポジティブネット」の形成事例として、「奉仕と親睦」を通して会員相互のみならず、地域社会及び国際社会との信頼関係を高めることが挙げられよう。しかし、奉仕活動という誰しも否定しがたいと思われる分野においても、私たちはとかく、共に歩むという謙虚な思いを忘れ、奉仕してあげているといった傲慢な姿勢に陥り易く、その結果、地域の方々との間に目に見えない壁を作る危険も無いわけではない。またワイズ会員の中には、奉仕活動には積極的に参加したいという気持ちは持っていますが、時間的、経済的、体力的な事情などから、参加が困難という方もいらっしゃる筈である。クラブとして奉仕活動に熱心に取り組むあまり、活動に参加できない会員にとっては、後ろめたさが当人を痛く傷つけ、ワイズからの離脱の原因にもなりかねない。こうしたマイナス面の問題は、例会や懇親会の実施といったワイズとしての基本的な営みにおいても発生する危険性がある。

(次頁へ)

2016年10月本例会

10月の本例会は、移動例会です。概要は次の通り。

日時：10月28日

集合：7:55 センター南駅

エスカレーター下

内容：星野富弘美術館（群馬県みどり市）を主目的に、足利市ココファーム・ワイナリー、足利学校、足尾銅山跡見学等を巡るバスツアーです。

ワイナリーでの昼食、夕食は宇都宮の餃子を楽しみます。

21:30センター南帰着の予定。

11月本例会予告

日時：11月25日（金）

18:30～20:15

場所：かけはし都筑

懇親会：ガブリエル

マーシャル：司会 今城T
 受付 林M

卓話：東 晋さん
 つづき災ボラネット
 メンバー

演題：健康寿命を延ばすポール
 ウォーキング

(前ページより) こんなことを言い出せばきりが無いようにも思われるが、大切なことは、ワイズがいかに高い理想を掲げて奉仕事業や例会活動を進めようとも、傷つく人、置き去りにされる人、反対勢力などマイナス面も必ず出現することを覚悟し、そうした影の部分もしっかり直視し、配慮しつつクラブ運営を進めなければならないことである。

(巻頭言 完)

◀特別寄稿▶

鈴木 茂

YMCA東山荘本館献堂式・落成祝会出席報告

日時 : 2016年10月9日(日) 13:00~14:30

会場 : YMCA東山荘 本館講堂

献堂式司会: 島田 茂 日本YMCA同盟総主事

聖書朗読: 田中博之 日本YMCA同盟常議員

コリントⅡ5:17-19

(5頁下段に続く)

◀例会報告▶

9 月 度 本 例 会

岡崎さよ子 記

日時: 2016年9月23日(金) 18:30~20:15

会場: かけはし都筑

司会: 辻Ts

受付: 岡崎

出席者: 相賀、今城T.H, 岡崎、岡田K.M、久保、鈴木S,K 田中、辻、林S.M 福島、三木、山中、横田

ゲスト: 武田暁明氏、赤間廣氏、斎藤勲氏

＜プログラム＞

◇開会点鐘: 林茂博会長

ワイズソング、信条

今月の聖句: 相賀昇チャプレン

ゲスト&ビジター紹介: 司会者

(ビジターの赤間氏は鈴木茂さんの知人、斎藤氏は鈴木茂さんの自治会仲間)

◇卓話: 武田暁明氏 (1級建築士)

テーマ ” 建築家の使命と心 “

氏の代表的な設計作品は 鎌倉駅舎。都筑区では みんなの家、くさぶえ、他10か所以上ある。建築活動生活50年の信念を、レジメを用意され熱く静かに語られた。

＜卓話概略＞: 建築設計の志は、10才迄長崎県対馬の玄海灘と山で育った事。その頃の価

値観が原点となっている。

- 衣、食、住が輝いている事が大切である。
- 美しい街並み
- 個がどう動いている・・・美しい街は、個性と調和している。
- 現代の街: 永い時間をかけて、衣食住環境から我々の体は蝕まれている。
- マンションに住む者は、要デトックス
- 夫婦の仲が良いことが原点で、夫婦の行き違いが戦争である。
- つづきワイズメン&ウィメンズクラブのご夫婦は皆、仲が良く素晴らしいと締めくくられた。

◇スマイル/アピール

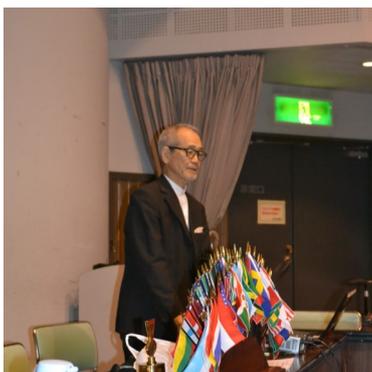
- 今城Tより YOU& Iコンサートの件
- YMCA報告: 山中北Y館長よりバザー献品のお願い

◇Happy Birthday: 山中奈子さん

◇イベント出席確認: 林茂博会長

- 湘南・沖縄部会 (10月1日)
- You&I コンサート (10月8日)
- 横浜YMCAチャリラン (10月15日)

◇懇親会: 閉会后“ガブリエル”にてゲストを含め20名出席



上: 卓話者の武田暁明氏

右: 当日のゲスト斎藤さん(左)と赤間さん(右)



上: 例会終了後の“Happy Hour”はいつもの“ガブリエル”で

＜特別報告＞

北海道部会・十勝クラブ40周年記念例会に参加して

1. 「前夜祭」

8月26日(金)十勝ヒルズにて行われた。
台北ダウンタウンクラブから24名、京都、大阪など西日本区からの出席者中心に約80名が参加した。

2. 北海道部会

翌8月27日(土)にとちかちプラザにて行われ、目玉は森田恵三ワイズの記念講演であった。

講演の要旨を次月号でご報告したく思うが、演題は「ワイズへの思い～これまでとこれから」であった。

※森田ワイズは、約22年前に有名な「ワイズ温泉どっぷり論」(ワイズ必携 P. 104～116)を執筆した方で、第38代日本区理事。京都ウエストクラブ。

3. 十勝クラブ40周年記念例会

同8月27日(土)、総勢約120名が参加した。
殆どが十勝とのIBC関係(台北)、DBC関係(京都・京都ウエスト・東京江東)、大阪西を中心とした西日本区勢であった。



前夜祭の森田恵三ワイズ、他ゲストの皆さん



山田会長。つづきクラブの記念例会にアスパラガスを持参して出席された。利根川理事、山本北海道部長



台北ダウンタウンクラブメネットの民族舞踊

台北ダウンタウンクラブメネットによる民族舞踊が披露されるなど、さながらアジア地域大会のようで大盛会であった。十勝クラブは1977年にスタートし、農村花嫁事業、ジャガイモファンド事業などで有名になった。長い40年の間には厳しい試練もあったが、それを乗り越え十勝の大地に根ざしたワイズダムを発展させてきたメンバーの皆さまの感慨に満ちた表情が印象的であった。



左から原俊彦元理事、原淑子ワイズ、岡西博司ワイズ、後藤昭子ワイズ、岡西知子ワイズ、山田会長、辻

(報告:辻 剛)

＜イベント報告＞ 第1回ワイズメンズカップ幼児室内チャリティーサッカー大会

報告：久保勝昭

去る9月22日（木・祝）、横浜クラブ、つづきクラブ協賛の下、第1回ワイズメンズカップ幼児チャリティー室内サッカー大会が横浜YMCA体育館にて開催された。横浜クラブから金子会長、当クラブから林会長夫妻と両クラブのメンバー6名が参加しました。横浜YMCAでの初めての試みなので、どんな大会になるのか大変興味があり、応援も兼ねて参加しました。

予め配られた案内には、保護者の方に向け「今回が、初めての試合になるお子様が多いことと思います。試合の勝敗には関係なく、保護者の方々には子どもたちのプレーを温かい目で見守ってあげてください。また、判定への異議や相手チームへの批判などはご遠慮いただくよう、ご協力のほどよろしくお願い致します」といった内容が記されていたので、我々の応援も、「頑張れ!」の掛け声、

拍手による応援の程度とすることにしました。横浜クラブ金子会長の、子どもに分かりやすい挨拶の後に試合が始まりました。試合は、横浜中央YMCA3チーム、横浜北YMCA3チームの計6チームによる総当たりリーグ戦方式で行われました。

□ 頃の練習の成果を保護者の方に見せようと、スピードと集中力を駆使した、未就学児達とは思えない白熱した試合には目を見張るものがありました。今回は順位による表彰はなく、選考の結果、キャラクターディベロップメントのCaring 賞、Honesty 賞、Responsibility 賞、Respect賞授与され、また、全選手には金メダルが贈られ、最後は林会長の激励の挨拶で閉会となった。我々も楽しみ、元気をもらった一日でした。（林会長、林M、横田、久保、今城Tが参加）



上・左：大会スポンサーの横浜クラブ、つづきクラブ
上・右：熱戦の様様
下・左：トロフィーを授与する横田さんと、中：久保さん
下・右：閉会の挨拶で健闘を称える林会長。子ども目線はさすが。



11月の行事予定

- * 11/3 北YMCAまつり
- * 11/8 事務例会
- * 11/17 東北被災地訪問 (予定)
- * 11/25 本例会
- * 11/26 第2回部評議会



前月（9月）データ

例会出席	20名	在籍会員数	20名	各種記録	前月	累計	
メンバー	17名	月間出席数	19名	使用済切手	0g	0g	
ビジター	0名	メーキャップ	2名	ブルタブ	0.4kg	7.0kg	
ゲスト	3名	月間出席率	95%	スマイル	22000円	22000円	

＜報告＞

2016年10月事務例会報告

日時:10月11日(火) 18:00~19:45

(会食20:00~ 一心にて)

場所: 田園都筑教会

出席者: 今城 T・H、岡崎、岡田 K・M、
鈴木 K、田中、辻 T s、林 S・M、横田

○開会・黙祷

○協議事項

1) 第6回 YOU & I コンサートの評価と反省

6回目となりスムーズに行えた。入場者は280名、スタッフ・演奏者40名、合計320名であった。会場が一体となって障がい児・者もクラシック音楽を楽しんでいる様子には関係者からも称賛の声が聞かれた。入場者数、チケット販売数が昨年より若干減っていることから、より組織的な対応が必要ではないかとの意見があった。会場での東日本大震災、熊本震災支援募金は4万6千円に達し、つづきワイズと北YMCAとで折半し、それぞれ被災地支援に用いる。

来年は10/7(土)か10/14(土)が予定される。

2) 東日本区定款見直しについて

辻定款改訂委員長より、今回の改訂作業の背景等について、「なぜ、今、改訂か？」等の説明がなされた。即ち、「我々の運動は、奉仕団体として、より広い視野を持ちつつ、青少年を初め、あらゆる世代、性別、宗教、文化、時代の違いを超えて、多くの人々から共感と理解を得られる集団でありたい」との思いから発している。

今後各クラブ提案内容を検討し、クラブ→部と上げて集約する。当クラブでは今後事務例会で話し合い来年3月までに結論を得る。

3) プリテンの編集方針について

担当より、今後は行事の報告記事だけでなく、

その他様々な記事掲載に努め、楽しいブリテンにしたいので寄稿等の協力要請があった。

4) その他

◆10月活動予定: 予定表の各項目(例会・YMCA・調理・傾聴・送迎・みんなの家・災ボラ・被災地支援・アーモンド・社協)に沿って確認されました。

◆10/15(土) 本年のチャリランへの当クラブの参加は1チーム。アスタPCより1名、北Y4名で編成する。

◆10/28(金) 移動例会 史跡足利学校、富弘美術館、足尾銅山などを巡るバス旅行。ワイナリー、餃子等味の楽しみも盛り沢山。ワイズメンバー外の方々の参加もある。

◆11/3(木) 北Yまつり。当日は当クラブより10名が参加予定。前日の準備にも参加。

◆11/17(木) に東日本被災地訪問の可能性を検討する。 窓口は辻 T s。

◆報告事項・・・

①「第一回 YMCAのワイズカップ幼児チャリティー室内サッカー大会(中央Y)」

②YMCA会員スポーツ大会(フェリス女子大)

③ブリテン合本作成発注

④COCO 12/6(火) 講演会「やまゆり園事件に思う」

※閉会のあと「一心」にて会食。「YOU & I コンサートの評価・反省」等につき活発な議論がなされた。

(岡田美和 記)

(2頁より続く)

さる10月9日(日)、YMCA東山荘の第三代目新本館の献堂式・落成祝会に、出席する機会を得た。献堂式は折しも、YMCA大会開催中ということもあり、出席者400名超という盛会であった(定員400名の新本館講堂は満席、多くの方々が1階食堂でビデオ参観)。

献堂式・落成祝会は、厳粛な礼拝で始まり、関田寛雄・日本基督教団神奈川教区 巡回牧師による「和解の言葉の発信地として」と題する説教を伺った。関田牧師は、YMCAがこれから担うべき課題は、共に生きる世界を創ることであり、これこそがイエス・キリストが求め給う世界であるとして、東山荘が愛と和解とによって世界が一つとなることを目指す、そうした人材を育成する器となってほしいと訴えられた。そのためには特に、日本YMCA基本原則の中に掲げられた「私たちはアジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の人びとと共に、平和の実現に努めます」という項目を重視してゆきたいと力説された。 献堂式に引き続

いて本館落成祝会が行われ、若林洋平・御殿場市長、利根川恵子・ワイズ東日本区理事、岩本 悟・西日本区理事等から祝辞が述べられた。

YMCA東山荘の初代本館は、学生YMCAの夏季学校開催場所として今から101年前の1915年に開設された。以来、東山荘は国内外の多くの指導者を育ててきた。1965年には、二代目の本館がYMCA国際青少年センター東山荘としてスタートし、最近に至っていた。ほぼ50年ごとに改築を繰り返して今回完成した三代目本館も、YMCAやワイズ等の優れた指導者を生み出す良き器となることを期待したい。

(YMCA東山荘本館献堂式・落成祝会出席報告 完)



横浜北YMCA便り

横浜北YMCA館長 中山奈子

少しずつ涼しくなり、秋のイベントシーズンが到来します。今年の北YMCAは「地域の力になる」ことを目標に地域イベントに積極的に参加しています。菊名小学校キッズクラブでは、評議員である斎藤町内会長さんからのお誘いで「菊名神社例大祭」に参加しました。毎年、こども神輿の担ぎ手が少なく、最後まで子どもでなかなか担ぎきれない…

というお声を聞き、キッズクラブでの参加を決めました。当日は25名の参加がありました。町内会からお借りしたハッピーをきて、ウキウキモードの子どもたち。山車を引っ張ったり、神輿を担いだりと約2時間の道のりをしっかりと歩ききりました。途中でお菓子やジュース、スイカなどをいただきました。「今年は子どもたちがおおいな～」と途中で寄った老人ホームのおじいちゃんたちに声をかけられました。子どもたちと握手をしたり、話をしているお年寄りをみて、それを見ている保護者やリーダーもほっこりした気持ちになれました。地域での関わりが少なく、なかなか祭りなどにも参加できなかった保護者の方も「参加するきっかけをもらえた」と一緒に楽しんでいらっしゃいました。

9月22日には横浜中央YMCAにおいて「幼児室内サッカー大会ワイズカップ」が行われました。今回は25名の幼児が参加して楽しい時間を過ごすことができました。観覧していた保護者の方々も熱心に応援をしていました。最後にワイズの皆様に協賛していただいたメダルを全員にわたしました。みんなキラキラとした笑顔で満喫をしていました。
(完)



＜報告＞ 第16回YMCA会員スポーツ大会

9月22日(木)にフェリス女学院大学緑園キャンパス体育館で開催されました。YMCA 会員事業委員会の主催です。つづきクラブからは鈴木(S)岡田(K)が参加しました。

ビーチボールを使った6人制のバレーで、参加チームは40チームで保育園児、その保護者・会員・YMCA職員など多数でした。大人はアタック、レシーブなど汗びっしょり、しかし保育園児にはネットがバトミントン用とは言え高い壁のようでした。開催側もルールに苦心しているようです。大人に交じって子どもも楽しくプレーできることは素晴らしいことです。YMCAファミリーを感じ、良い活動だと思います。

初回の頃はワイズの面々も若くプレーに積極的に参加したと聞きました。時の流れと共にこの大会も変わって来たようです。この体育館の素晴らしさ、また道具なども揃っておりYMCAの活動が広く理解されていると感じました。

(岡田勝美 記)



北YMCA まつり 実行委員会報告

開催日時: 2016年11月3日 10:00~15:00

＜目的＞

北YMCAまつりは、国際協力募金の一環として行います。収益は、日本YMCA同盟を通して世界の困難な中にある子どもたちや災害や紛争に苦しむ方々のために寄付します。献品にご協力ください。(受付: 11月2日(水)まで)

[チャリティバザー] 食器家庭用品・日用雑貨・本・CD・DVD・洗剤・石鹸・キッチン用品・バック・賞味期限のある食料品など。

[キッズマーケット] 子ども用衣料・靴・おもちゃ(破損のないもの)

[販売用グッズ] 紙袋・ビニール袋・ハンガーなど販売時に活用できるもの) 中古大人用衣服・靴、使い古しの食器・なまもの・大型家具などは、ご遠慮いただきます。

[出店コーナー]

飲食・野菜販売、ぐりぐらミニクッキング、もちつき、抽選会など。

[ゲームコーナー]

サッカーゴルフ、パクパクフリスビー、魚釣りゲーム、クラフト、プールミニゲームなど。

[発表会] (14:30から3階スタジオ)

キッズダンス・チアダンス・体操・空手など。

(林理子 記)

《行事報告》 第6回You & I コンサートの開催について

＜背景＞

去る10月8日、1年間を費やして準備してきた、当クラブ恒例の「You & I コンサート」が、都筑公会堂にて開催されました。今回で第6回を迎えたこのコンサートは、クラブの創立5周年記念行事として始めたもので、もとはといえば大和YMCAの「輪和Waコンサート」を見倣ったものです。

本コンサートの運営は、当クラブが事務局を務める「You & I コンサート運営委員会」が行い、同委員会には当クラブの他、NPO法人みんなの家、NPO法人アーモンド・コミュニティ・ネットワーク、NPO法人脳外傷友の会ナナ、NPO法人アスタPCなど、地域で障がい者の支援活動や施設を運営する方々と北YMCAが参加しています。

演奏は、フルート奏者 佐藤大祐氏（洗足学園音楽大学准教授）が率いる「横浜室内合奏団・歌劇団」が我々の趣旨に賛同して、第1回より担当してくれています。

前後しますが、このコンサートの「趣旨」は、障がいのあるなし、年齢などに関係なく、誰もが楽しめるクラシック音楽のコンサートを開催することで、会場には、様々な障がいを持つ大人や子ども、小さい子連れの親子などが溢れ、各自各様に音楽を楽しむ風景が見られます。

運営委員会の大切な役割の一つに、関係する行政との接触です。運営委員会の申請により、このコンサートは、都筑区、横浜市教育委員会、都筑社会福祉協議会がそれぞれ後援してくれています。そのおかげにより、例えば、なかなか借りるのが難しい公会堂のホールが、抽選に参加することなく優先的に借りることができるほか、地域の学校やケアプラザ等の施設に案内チラシを容易に掲示出来たりします。また、ありがたいことに、過去数回は、都筑区社協の「つづきふれあい助成金」の提供を受けることができています。加えて、横浜YMCAのチャリティラン支援金、ワイズ湘南・沖縄部のCS支援金等の配賦も受けることで、これまで、運営委員会構成団体の経済的負担なくコンサートの運営が可能となっています。なお、チケット代は、一般1000円、学童500円、障がい者500円（介護者1名無料）、未就学

＜本年の開催概要＞

車いすを使われる方や不自由な方が多いため、空模様が気になりますが、本年は朝から雨模様。急遽、傘袋を用意する場面もありましたが、13:00の開場時には薄日が差し始め、主催者一同ほっと胸をなでおろしました。入場を待つ人々が受付ロビーに溢れ始めたので、予定を若干早め、お客様に入場して頂きました。

各主催団体毎に受付を設け、それぞれ担当する来場者の

受付を行いました。当日券の入場者が多いこともあり、受付に行列ができる場面も見られたが、概ねスムーズにご入場いただきました。毎回のことですが、ホール前部の一区画は、座席を外して車いすの来場者に備え、介護者用にはパイプ椅子も用意しました。14:00、本年の運営委員長であるつづきクラブの林 茂博会長の開会宣言と挨拶でいよいよコンサートが開幕しました。今年の構成は、フルートとクラリネット、ヴァイオリン（2）、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの7名の演奏者と、オペラに出演のソプラノ、テノール、バスの声楽3名です。1曲目はヘンデルのメサイヤより”シンフォニア”で、澄み切った音色に、会場が静まり返りました。このコンサートは、皆がそれぞれに音楽を楽しむことを目的としているため、演奏の途中で、笑おうが叫ぼうが手をたたこうが一向に自由ですよ、と案内しているにもかかわらず、聴衆皆が音楽に吸い込まれてゆくような静けさに包まれました。音楽の素晴らしさを、実感した一瞬です。それから約40分間、静かな曲あり、みんなが知っている曲あり、映画音楽ありの楽しい演奏がつづきました。全部で10曲の演奏の後約20分の休憩があり、第2部が（次頁に）



開演を前に、30余名のスタッフが最後の打ち合わせを行い、成功を祈った。



演奏が始まり、美しい音色に会場が包まれるや聴衆の耳や目が舞台に集中した。

